

# いわき支部便り

(一社)福島県臨床検査技師会いわき支部  
 発行日 平成29年4月19日 平成29年度第1号  
 作成者 いわき支部事務局 野木 典久  
 発行責任者 いわき支部長 森 菊夫

## 平成29年度いわき支部総会並びに第30回学会開催される

平成29年度いわき支部総会並びに第30回学会が、4月15日（土）いわき市総合福祉センター多目的ホールにおいて総数164名（委任状98名）の参加を得て開催されました。



森支部長

山寺会長

はじめに森菊夫支部長の挨拶があり、続いて山寺幸雄県技師会会長の来賓祝辞の後、定期総会へと移りました。

総会では各報告、各議案および新役員はすべて承認されました。

森支部長は挨拶で、新入会員の参加が多いことに触れ、歓迎の意を表すとともに今後の研鑽を期待しますと述べました。



(総会の様子) 議長は江東微生物研究所の野口技師です

山寺会長は、昨年の参議院選挙で当選を果たした宮島日臨技会長への福臨技会員による選挙活動への協力に感謝の辞を述べ、奔走の様子や裏話などを織り交ぜながら議員となつてからの活動を紹介し、「次期選挙の結果が日臨技の本当の真価が問われるでしょう」、「活動費用が少なく、苦勞を強いられている宮島会長のためにも技師連盟への加入をお願いします」など、会員への協力を述べたほか、登録状況がいまだ半数にも満たない災害安否確認システムへの登録の呼びかけを行いました。



会長の熱い挨拶を聞く会員も真剣です

### 平成29年度 いわき支部役員

役職名	氏名	施設名
支部参与	山崎 美一	自宅
支部長	森 菊夫	いわき市立総合磐城共立病院
副支部長	平山 善雄	微研東北中央研究所
副支部長	馬籠 英之	常磐病院
事務局長	野木 典久	かしま病院
副事務局長	佐藤 聡子	かしま病院
学術部長	塚本 厚	松村総合病院
副学術部長	吉田 明身	松村総合病院
会計部長	松本 英明	いわき市立総合磐城共立病院
幹事	八代 巳知子	福島県保健衛生協会いわき地区センター
幹事	原田 弘美	いわき市保健所
幹事	菊池 重寿	微研東北中央研究所
幹事	木田 陽子	福島労災病院
幹事	青天目 都子	呉羽総合病院
幹事	鈴木 久仁子	いわき市立総合磐城共立病院
幹事	山崎 一樹	いわき市立総合磐城共立病院
会計監査	馬場 弘美	呉羽総合病院
会計監査	佐藤 弘子	福島労災病院

※いわき支部役員解任（ ）は任期  
 猪狩 忍（1期） 福島県保健衛生協会いわき地区センター

大変お疲れ様でした！

### 新役員紹介



# 学会テーマ ～日臨技精度保証(標準化事業)について～

## 特別講演 「共用基準範囲について」

講師：(一社)福島県臨床検査技師会常務理事  
竹田綜合病院臨床検査科 高田 直樹 先生



## 教育講演 「明日から役立つ精度管理の基礎」

講師：シスメックス株式会社 仙台支店 学術サポート課  
安部 一郎 先生



特別講演では、共用基準範囲についての経緯から血液・生化学の項目ごとの詳細の説明や最近の動向まで分かりやすく解説いただきました。特に、共用基準範囲を導入する為の準備については、我々検査技師が十分な知識を持つ事の重要性や、準備から導入するまでの実例を織り交ぜての講演は会員の活動の指標になるものと思われました。

教育講演では、精度管理の目的から内部精度管理・外部精度管理についての詳しい内容で、管理限界をはずれることの意味や検査結果に影響を与える要因など、今後我々が日常業務を行う上で大変参考になる講演でした。

講演終了後は、若手技師からの活発な質疑があり実りある学会となりました。

## 会員の皆様へのお願い

いわき支部会員の皆様には先日、メール又は郵送で「災害安否確認システムへの登録のお願い」をいたしました。趣旨をご理解のうえ登録いただきますよう再度お願いを申し上げます。

## 登録の方法

①福島県臨床検査技師会のホームページを開きます

<http://fukushima-amt.or.jp/>



①トップページ左側の「サイトメニュー一覧」の「災害安否確認システム」をクリックします。

②災害安否確認システム登録画面



②登録画面が表示されますので、必要項目を入力し、最下段の「上記の内容で送信する」をクリックして完了です。

皆様のご協力をお願いいたします

